

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環評価手法に関する研究	北見工業大学 駒井 克照	c	物質循環モデルの構築が進められているが、モデル化の対象となる現象・課題が不明確であることから、これらを明確にして、対応した研究計画に見直す必要がある。
概要	釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環の定量予測・評価のための現地調査、実験、および物質循環モデルの基礎モデル構築を行う。			
テーマ	北海道を対象とした局地的豪雨の予測手法の開発および突発的出水に対応したハザードマップの作成	北海道大学 山田 朋人	a	降雨流出に関する検討などの要素となる研究が着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	本研究はこれまで北海道で発生した豪雨形態の時空間的な特徴の解明、水文諸量の予測精度の向上、および突発型出水発生確率分布マップの作成を目的とする。			
テーマ	雨量履歴・水位履歴を考慮した河川堤防の安定性のリアルタイム予測方法の開発と安全性向上に関する研究	名古屋工業大学 前田 健一	a	降雨・水位履歴を考慮した間隙空気の動態の解明が進むなど、堤防の安定性のリアルタイム予測に向けた研究が着実に進捗していることから、現行計画のとおり推進することが妥当と評価する。
概要	流域の安全性向上のため、堤防への浸透挙動に及ぼす雨量と水位の履歴の影響を明らかにし、堤防の安定性のリアルタイム予測を可能にする。			
テーマ	東南海地震による津波を想定した大分県番匠川流域の地域住民との合意形成に基づく防災対策の提案	大分工業高等専門学校 東野 誠	c	防災対策の提案にアンケートを活用しているが、学術的な成果が明らかになっていないことから、アンケート時の実施・分析について研究計画を見直す必要がある。
概要	東南海地震により津波が佐伯湾から番匠川河口に押し寄せた場合の番匠川流域でのハザードマップと防災対策を作成する。			

評価の凡例

a:非常に優れた研究である。

b:優れた研究である。

c:条件付きで評価できる(研究計画の変更、研究費の減額)

d:次年度の研究継続は認められない(研究の打ち切り)